



松山女子高同窓会報

埼玉県立松山女子高等学校 〒355-0026 埼玉県東松山市和泉町2番22号 TEL.0493(22)0251



昭和30年当時
正門からの風景



現在の松女
ロータリー付近

埼玉県立松山女子高等学校校歌

作詩 浅野光良
作曲 高木東六

1. 富士の高嶺 望む丘よ
青垣秩父 はるかに見はるかす
いみじき場よ わが学び舎よ
ああ われら われら乙女ぞ
若き力を 今ぞそそぎて
天分伸ばし 知性を高め
真理究めむ いぎ いぎ 共に
2. みどり匂ふ 松の里よ
箭弓の杜辺 きよらに規模広く
開けし場よ わが学び舎よ
ああ われら われら乙女ぞ
若き血潮を 今ぞたぎらし
身魂鍛へ 技術を練りて
道を究めむ いぎ いぎ 共に
3. 都幾の流れ 時じくによ
松のみどりの うるはしとことばに
栄ゆく場よ わが学び舎よ
ああ われら われら乙女ぞ
若き生命を 今ぞかたむけ
情操磨き 婦徳を修め
法を究めむ いぎ いぎ 共に

(昭和二十七年四月制定)

「伝統を繋いで」

会長 坂本 祐子



同窓会員の皆様、二十七年度の総会より会長に就任致しました坂本です。初めての同窓会報発行に当たり、改めてご挨拶申し上げます。役員も入れ替わり、行き届かぬ点多々あるかと存じますが、全員で精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、母校・埼玉県立松山女子高等学校は、平成二十七年に創立九十周年を迎え、当時の富岡英子同窓会長が実行委員長となり、祝賀式

典も盛大に行われました。県内には、公立・私立を合わせると二百余りの高校がありますが、その中で九十年以上の歴史を有するのは三十数校です。その伝統ある松女の同窓会は、学校創設から五年後の昭和五年に第一回大会が開催されています。昭和三十三年には会則が制定され、以来、三条の「本会は同窓の旧交を温め、品性の向上に努めるとともに、母校の進展に寄与し、教化公共の事業に貢献することを目的とする」に則り、

活動を行ってまいりました。

会員の皆様には等しく卒業時に同窓会費を納めていただき、それが会の活動の拠となっていたのですが、残念ながらそのご報告の機会が総会の場のみとなっておりました。その現状を改善し、百周年、さらにはその後に向けて、会の活動をより充実発展させていくための試みがこの会報の発行と三十年ぶりの同窓会名簿の作成になります。(詳しくは三ページの臨時総会報告をご覧ください。)この試みを通して同窓会を身近なものと感じていただき、ご理解・ご協力をいただければ幸いです。

重ねてお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。



「母校は今」

校長 長谷部俊幸

同窓会の皆様には日頃から本校の教育に対して、御理解、御協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、本校は、平成二十七年に創立九十周年を迎え、創立九十周年記念式典を前同窓会長の富岡英子様

に実行委員長をお務めいただき、挙行させていただきました。校歌合唱も誇りを持って歌い、美しい歌声が会場に響きました。アトラクションでは、生徒会役員が司会を務め、空手道部が、気合の入った組手・形を

演武しました。音楽部は、全日本合唱コンクール全国大会で金賞を受賞した直後で、部員百三十六名の歌声が会場の皆様の心を打ちました。

「社会に貢献する『漂として輝く』」女性を育て、地域の期待に応える進学校」を目指し、学校進学力パートナーシップ推進事業、隔週の土曜授業、新生活オリエンテーション合宿、平日・長期休業補講、学習合宿、などにより学力向上を図っています。部活動も盛んで、全国大会・国体に、

音楽部、書道部、箏曲部、放送部、空手道部、陸上部、ソフトボール部が出場、関東大会にも、水泳部、文芸部、写真部が出場し、他の多くの部が、県大会上位の成績を収めています。また、隔年のオーストラリア国際交流、特別支援学校・小学校との交流や地域行事の積極的な参加に取り組んでいます。

そして、松女生としてのプライドを持って、品位ある制服の着こなし、周りの人への配慮ある言動のできる生徒の育成に取り組み、地域から信頼される高校となっております。



平成二七・二八年度 同窓会役員名簿

役職・氏名 (卒業年)

顧問

- 長谷部俊幸 校長 (昭和四八年)
- 及川三栄子前校長 (昭和四八年)
- 富岡 英子前会長 (昭和三六年)

理事

- 清水 敦子前副会長 (昭和三六年)
- 野村千代子前副会長 (昭和三九年)

会長

- 坂本 祐子 (昭和四八年)

副会長

- 菊池 初江 (昭和四四年)
- 會川 淳子 (昭和四八年)
- 岡野美智子 (昭和四八年)
- 松崎恵美子 (昭和四九年)
- 飯島かおる (昭和五四年)

監事

- 篠崎 久子 (昭和三九年)
- 中里 芳子 (昭和三九年)

支部長

- 柳下万里子 (東松山東・昭和三九年)
- 長嶋 民江 (西・昭和四一年)
- 新井千恵子 (南・昭和四十年)
- 田中喜代子 (北・昭和三三年)
- 森田 常子 (唐子・昭和四一年)
- 長谷川典子 (高坂・昭和四九年)
- 松本 昌子 (大岡・昭和四九年)
- 新井よし子 (野本・昭和四三年)
- 木村 幸子 (熊谷大里・昭和五十年)
- 田嶋えい子 (滑川宮前・昭和五十年)
- 賛田 玲子 (福田・昭和四八年)
- 大塚 清子 (嵐山・昭和三八年)
- 名畑目洋子 (北・昭和三二年)

- 木村 信子 (嵐山菅谷・昭和四八年)
- 福島 直子 (南・昭和三九年)
- 安藤富美子 (小川・昭和三八年)
- 清水 敦子 (八和田・前出)
- 新井 恵美 (寄居・昭和四四年)
- 石沢八千代 (吉見・東・昭和四四年)
- 新井 和子 (西・昭和四八年)
- 片山あき子 (南・昭和四三年)
- 山崎はるみ (北・昭和四三年)
- 石川 瑞枝 (川島中山・昭和三七年)
- 山口 艶子 (小見野・昭和三八年)
- 小島 和江 (三保谷・昭和四七年)
- 谷嶋 春子 (出丸・昭和三三年)
- 飯島 弘子 (伊草・昭和四六年)
- 友光はつ枝 (八ッ保・昭和四七年)
- 三宅裕美子 (坂戸・昭和四五年)
- 林 きよ子 (勝呂・昭和四一年)
- 川島八代江 (入西・昭和四十年)
- 須田 絹江 (大家・昭和四十年)
- 高野 信子 (越生・昭和四五年)
- 赤岩 政枝 (玉川・昭和四八年)
- 児玉 千春 (ときがわ・昭和四五年)
- 高山 和枝 (鳩山・昭和四五年)
- 伊藤 早苗 (鶴ヶ島・昭和四五年)
- 坂本 茂子 (川越・東・昭和四五年)
- 岸野 素子 (東・昭和四五年)
- 久保田悦子 (西・昭和四八年)
- 富岡 宏子 (南・昭和四五年)
- 井上 深雪 (北・昭和三九年)
- 吉川 昌江 (中央・昭和四八年)
- 小川 益世 (霞ヶ関・昭和五十年)
- 谷澤 良子 (富士見・昭和四二年)

幹事

- 高須 美子 (松女渉外部)
- 渡辺 道子 (同)



総会概況

原則として二年に一度の開催の総会では、会則三条(二ページ前掲)に則って、事業の提案やそれに伴う予算執行案等を議題に上せ、会員の皆様にご協議いただいています。

近年では、母校及び在校生の活動への支援を中心に事業を行っていきます。具体的には、体育館の緞帳や校旗の新調等の校内環境の整備事業への援助、在校生の活動への支援などです。ここ数年の松女生の活躍は目覚ましく、部活動の関東大会全国大会への出場、海外での学習行事への参加等、多岐に渡っています。その際に必要な費用の負担軽減にと激励費を拠出しています。

また東日本大震災や熊本地震への寄付も行いました。(下段の事業及び決算の報告書は前回の総会のものですが、ご覧ください。)

さらに協議後の企画として、講師

を招いての講演会と在校生による部活動の紹介を交互に行い好評をいただいています。部活動紹介は「松女生の今」を知ると同時に「在りし日の高校生活」を思い出すよい機会となつていようです。

毎回会場では旧交を温める光景がそここで見られ、和やかな雰囲気の中に閉会しています。

二十八年臨時総会報告

前回・前々回の総会で「同窓会の総会開催や活動について、もっと多くの会員に知らせてほしい」との要望が出されました。今までの総会は支部長の皆さんが、友人・知人に手立てを尽くしてお知らせし、参加者を集めるといふ方法で行っていましたが、しかし、これには限界があるのは明らかで、その要望に応える方法について協議しました。

新聞・自治体の広報誌・松女のホームページ等の利用も検討しましたが、会員への情報発信をより確実に行うためには、まずその所在を把握するための名簿の作成が必要不可欠であるとの結論に至り、本部案として提案し、賛同をいただきました。

総会とそれに先立つ理事会でも、個人情報に関わる問題を危惧するご意見も出されましたが、ここで一度情報を整理しておくことが今後の活動の礎となり、会の発展を可能にする、さらには八年後に百周年を迎える母校の発展に寄与すること等の重要性をご理解いただきました。

事業報告

平成25年度

- 平成25年 4月24日 役員会開催 会計監査実施
総会準備会
- 6月2日 定期総会開催 出席者62名
アトラクション、
松山女子高校空手道部演武見学
- 6月18日 元会長 江野嘉子様逝去、香典等支出
- 平成26年 3月11日 平成25年度卒業生同窓会入会式
315名が新会員となり記念品として
卒業証書ケースを贈呈

- 生徒会活動補助費を支出
- 全国大会出場生徒へ激励費を支出 延べ32人

平成26年度

- 平成26年 8月17日 海外体験学習助成 25名参加
～24日
- 11月21日 創立90周年事業費へ拠出額内定
- 平成27年 2月7日 正副会長等会議
平成27年度総会開催に向けて打合せ
- 3月11日 平成26年度卒業生同窓会入会式
317名が新会員となり記念品として
卒業証書ケースを贈呈

- 生徒会活動補助費を支出
- 全国大会出場生徒へ激励費を支出 延べ37人
- 部活動応援幕作成

同窓会収支決算書

平成25年度

1 収入の部

項目	決算額(円)	備考
会費	1,575,000	315名×5,000円(入会金含む)
繰越金	8,961,492	
雑収入	1,384	預金利子
合計	10,537,876	

2 支出の部

項目	決算額(円)	備考
会議費(地区理事会)	26,432	資料代・茶菓代
〃(総会)	171,465	資料代・会場費・茶菓代
〃(〃)	80,000	空手道部演武謝礼等
〃(〃)	14,125	退任役員記念品代
通信費	4,220	地区理事会・総会
生徒会活動補助	360,000	年間補助、全国大会出場生徒激励費
卒業記念品	103,260	証書ケース
慶弔費	29,614	
合計	789,116	

3 差引残高

収入総額(円)	支出総額(円)	残額(円)
10,537,876	789,116	9,748,760

次年度へ繰越し

平成26年度

1 収入の部

項目	決算額(円)	備考
会費	1,585,000	317名×5,000円(入会金含む)
繰越金	9,748,760	
雑収入	1,515	預金利子
合計	11,335,275	

2 支出の部

項目	決算額(円)	備考
生徒会活動補助	385,000	年間補助 全国大会出場生徒激励費
卒業記念品	106,450	証書ケース
慶弔費	0	
学校主催事業関連費	204,440	海外体験学習助成 横断幕の作成(2枚)内用外用
合計	695,890	

3 差引残高

収入総額(円)	支出総額(円)	残額(円)
11,335,275	695,890	10,639,385

次年度へ繰越し



「創立九十年の星霜を数え」

九十周年記念事業実行委員長
富岡 英子

埼玉県立松山女子高等学校が創立九十年の星霜を数え、埼玉県教育委員会を始め、地元市町村並びに関係皆様のご支援のもと、記念式典を挙げ、記念誌発行の諸事業を進めることができ、心から御礼申しあげます。生徒、職員、同窓生にとり、この上

ない喜びでいっぱいでございます。私はこの歴史のステージに立つ巡り合わせを誠に光栄に存じます。

本校の歴史をふり返る時、昭和の歴史と共に歩んできたといえましょう。大正十五年の創立から昭和二十四年の県立高校となる草創期の、戦中戦後の不安定な社会の中の学校運営や学習環境の困難は、想像に難くありません。昭和二十二年新学制施行時は廃校の危機に直面し、生徒・職員の情熱でそれを乗り越えてきました。県立高校当初当時の浅野校長先生は、特にスポーツ系部活動を奨励し生徒に自信をうえつけ更なる充実発展に導いたとお聞き

しています。校地移転の名残りを留める校庭の三本松は、今ほどっしりと根を張り枝を伸ばし松女生を見守ってきました。これからも卒業生を送り、新入生を迎え、希望に燃える乙女らの活躍を見守り続けることでしょう。

二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックの開催では、どんな社会が到来しているでしょうか。東日本大震災の発生は被害地が広範囲で復興のほどかしさを感じます。復

「創立九十周年記念誌」より



凛として輝く

「松女」であり続けるために

二十四代校長 及川三栄子

二年間、松女で校長を務めさせていただいた。母校でもあり自分の高校時代が重なり、管理職としての力量を十分に発揮できなかったように振り返る。が、松女は九十年の歴史を確実に継承し、発展し続けていることを目のあたりに見ることができ

たのは、例えようのない幸福であった。公職を離れた今もなお、あの頃の熱い思いは失せない。感謝である。在職中は、あらゆる場を活用して九十年の変遷について縷々語ってきた。倉庫や校長室や、意外な場所から出てきた松女の生きた証、声なき声。目に耳にするにつれ言葉が失

い、教職員、生徒そして保護者の方々に如何に感動を伝えるか、心底苦勞した。単に伝承ではなく、継承されている数々の時代との戦い、荘厳さ、力強さ、優美さ、女子校としての威厳と風格。自分が高校時代には知り得なかった数々の事実と向き合い、過去と現在とを行き来するう

ちには、時の経つのを忘れた日々が懐かしい。校長としてその事実を敬服し、次世代を担う目の前の生徒たちへ、想いこもこも託さねばならない、しだいに大きな責務へと変化していったことが思い出される。

今、松女を離れてみて、松女生の素晴らしい生徒像に改めて気づく。それは、誠実さ、優しさ、そして粘り強さである。それらの要素が相まって思いを繋ぎ、見事に九十年の歴史を紡いだのが松女であると確信

する。当然一番の支えは、常に地元の方であった。セーラー服姿の松女生をよく見かける。服装を正し、気持ちを一途に、松女の伝統と看板を掲げて、勉強、部活、委員会、奉仕活動、と自らの力を発揮し、自分の道をしっかりと歩んでほしい。二万人を超す卒業生の思いを自分たちが一〇〇年へ繋ぐ自負心、正にこの機に伝統校に在籍した醍醐味である。全国、世界に凛として輝く女子高の雄「松女」、新たな時代を拓き、歴史を紡ぎ続けることを祈る。

この日まで松女を支えてくださった方々に心より感謝申し上げます。九十歳おめでとう。



2015年(平成27年)創立90周年記念式典

興支援の取組みとオリンピック開催を両輪に高校生など若い世代の活躍が期待されます。

前校長及川三栄子先生は、卒業生の視点で古いアルバムや生徒会誌の資料を掘り起こし、生徒の意識改革に寄与されました。女子高校は見方を変えれば強力な個性を発揮できる環境といえましょう。松山女子高校の目指す「社会に貢献する聡明な女性・地域の期待に応える人間」となるよう精進する生徒達を誇りに思います。松山女子高校に連なる私共は、創立百周年に向けて緩みなく確かな足跡を印すべく努力することをお誓いし、ごあいさついたします。

1926年(大正15年)3月2日
埼玉県松山実科高等女学校(4年制)
設置を認可される 4学級(定員200名)



石井金平初代校長と正門から見た校舍

1929年(昭和4年)3月20日
第1回卒業式



家事室にて割烹の授業(2回生)



1930年(昭和5年)
3月25日第1回同窓会開催
7月15日校友会誌「姫小松」創刊

1935年(昭和10年)
11月3日新校舎落成式



赤い屋根の校舎落成式



薙刀術の視察(昭和10年)

1942年(昭和17年)3月25日
実科高等女学校から
高等女学校に組織変更
8学級(定員400名)



昭和17年度3年生
衣料購入に切符制がしかれ、ヘチマ襟と従来の
ものが混在している

1946年(昭和21年)
校友会復活



昭和21年度9月創刊の
校友会誌「松翠」

1948年(昭和23年)
4月1日新制高等学校スタート
9学級(定員450名)

1949年(昭和24年)
埼玉県立松山女子高等学校となる



校章決定

校章の由来

本校の校章は知・情・意を表す三本の松を安定した山型に組み、円満・潔白を表す丸い白地の中に乙女の情熱と赤誠を象徴する深紅で松の枝をかたどった「女」の文字と「高」を配したものである。

※写真は「創立80周年記念誌」および「創立90周年記念誌」より抜粋

卒業生クラス理事

(平成十五年・二十一年度七組は記録が残っていません)

荒井つかさ	宮脇亜紗子	七組	長谷部景子	相沢めぐみ	山本由美	藤原尚美	五組	山岡美菜	沼田千紘	四組	杉田裕子	栗原茜	三組	岡村みさき	高木綾乃	二組	梶田麻梨美	長南愛	一組	十六年度	坂本美保	迫田好美	八組	清水麻里子	勝田裕美	篠沢久美子	七組	倉林枝影	六組	横田さやか	神谷香菜	五組	堀越香七重	佐藤暁子	四組	松本亮子	三組	余呉めぐみ	藤野美香	二組	那須野美樹	中村愛粧美	一組	十四年度	栗原歩	八組	小島彩佳	十七年度	橋本千穂	山口沙哉子	新原夏美	三組	三浦沙貴	荻野朋子	松田菜美	四組	佐々木舞	鳴原美穂	五組	関麻美	及川麻佑子	長谷川絵理	六組	桑原芳弥	中島春華	七組	石井恵	中西安里紗	八組	岸村梢江	松野美都	一組	十八年度	野村美佳	原田真実	二組	居合紗希	吉田華麗来	三組	大野友里愛	飛鳥馬沙織	新井七洋	石田萌美	山崎真奈津	六組	新井佳奈子	石田彩香	七組	椿絵里花	松本静佳	八組	尾根田彩音	加藤佐枝子	十九年度	小峯みづほ	島原実菜美	金子明日香	三組	庄司万純	江川彩	絹川涼	四組	浅香友里恵	原澤麻実	五組	五十嵐秀美	野本芽維子	六組	工藤杏莉	小嶋佑果	七組	荒井みち代	田嶋友里	八組	高野萌子	山梨華子	山川祐美	横田春菜	一組	二十一年度	寺田佑美	松田美幸	飯島祐美	矢田詩織	阿部里紗	山越香織	田中真璃子	新堀紗知子	六組	田中奈緒美	中野穂奈美	七組	(記録なし)	八組	安藤加絵	伊藤有香	二十二年	谷川真唯	安田芹菜	荻野詩織	渡辺祥江	西野恭子	田邨夢	梅澤真喜	黒沢智美	五組	黒瀬友里子	渡辺実菜	浅見康名	笠原千恵	七組	沼見千恵	島野悠	沼愛弓	六組	酒見千夏	須川結惟	七組	須川結惟	田中晴子	戸口藍	八組	中道沙緒理	藤綾菜	一組	大澤くるみ	清水星良	二組	水澤仁美	小澤若奈	三組	千葉蒼乃美	五組	矢守麻那	矢田愛実	六組	山口くるみ	野口さくら	七組	松本真理子	吉田奈緒美	八組	石川彩花	伊藤紗耶香	二十四年度	市石遼	小島美怜	岡安唯	畑口恵里香	三組	田尻華奈子	岸友利子	四組	赤嶺美紀子	谷澤祐香	五組	尾島圭織	尾島智捺	四組	森田彩花	山田彩楓	五組	島田菜々美	田中里奈	六組	沼上知以	村川由希子	七組	武真優	西原好美	八組	柳瀬優夏	錦木由季	平野加奈	四組	町田奈穂	松本佳菜	五組	秋山美優	若狭由真	六組	小峰麻衣	平田恭子	七組	内村恵	小島葉	八組	内川愛実	大塚三鈴	二十六年度	池田優希	関百合子	二組	長浦由梨	松浦由梨	三組	尾島圭織	尾島智捺	四組	森田彩花	山田彩楓	五組	島田菜々美	田中里奈	六組	沼上知以	村川由希子	七組	武真優	西原好美	八組	柳瀬優夏	錦木由季
-------	-------	----	-------	-------	------	------	----	------	------	----	------	-----	----	-------	------	----	-------	-----	----	------	------	------	----	-------	------	-------	----	------	----	-------	------	----	-------	------	----	------	----	-------	------	----	-------	-------	----	------	-----	----	------	------	------	-------	------	----	------	------	------	----	------	------	----	-----	-------	-------	----	------	------	----	-----	-------	----	------	------	----	------	------	------	----	------	-------	----	-------	-------	------	------	-------	----	-------	------	----	------	------	----	-------	-------	------	-------	-------	-------	----	------	-----	-----	----	-------	------	----	-------	-------	----	------	------	----	-------	------	----	------	------	------	------	----	-------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	----	-------	-------	----	--------	----	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	----	-------	------	------	------	----	------	-----	-----	----	------	------	----	------	------	-----	----	-------	-----	----	-------	------	----	------	------	----	-------	----	------	------	----	-------	-------	----	-------	-------	----	------	-------	-------	-----	------	-----	-------	----	-------	------	----	-------	------	----	------	------	----	------	------	----	-------	------	----	------	-------	----	-----	------	----	------	------	------	----	------	------	----	------	------	----	------	------	----	-----	-----	----	------	------	-------	------	------	----	------	------	----	------	------	----	------	------	----	-------	------	----	------	-------	----	-----	------	----	------	------

松女では卒業時に各クラスで同窓会クラス理事を選出しています。しかし、平成15年3月から平成27年3月の卒業生名簿は現存していません。上記理事の方はもとより該当する年度の卒業生の皆様、またお知り合いの方がいらっしゃいましたら坂本同窓会長(090-3406-0251)までご連絡下さい。松女HPからも登録可能です。

主な行事

松女・春夏秋冬

April



入学式



新入生オリエンテーション

May



遠足

June



松女祭

September



水泳大会(3学年)

October



体育祭

November



修学旅行

December



球技大会

February



マラソン大会

March



卒業式

4年生大学合格実績 (過去3年間の主な実績)

※()内は過年度生で内数

大学	24年	25年	26年
お茶の水女子大		1 (1)	
埼玉大	1 (1)	2	2
信州大	1	1 (1)	
琉球大		1	
群馬県立県民健康科学大		1	
高崎経済大		1	
埼玉県立大	4	2	1
青山学院大学	1 (1)		
麻布大			1
虫細亜大	4 (1)	5	4
跡見学園女子大	11	14	7
大谷大		1	
桜美林大			2
大妻女子大	3 (1)	3	2
学習院女子大	3 (1)	3	1
学習院大	6 (4)	2	3 (1)
神奈川工科大	1		
関東学院大			1
神田外語大	2		
北里大	2	1	2 (1)
共栄大			3
京都女子大		1	3
共立女子大	8 (1)	1	3
杏林大		5	5
恵泉女学園大			3
工学院大			1
國學院大	4 (1)	2 (1)	2
国士舘大	5	3	1
駒沢女子大	2	4	4
駒澤大	6 (1)	4	8
埼玉学園大			1
埼玉医科大	2	10	2
埼玉工業大	5	3	5
実践女子大	7 (1)	7 (1)	2
芝浦工業大			1
十文字学園女子大	20	24	31
淑徳大	4	7	6
順天堂大	1		
白百合女子大		1	1
白梅学園大			1
城西大	4	15	15
尚美学園大	2	1	1

大学	24年	25年	26年
昭和女子大	10 (2)	7 (1)	10
女子栄養大	7	4	3
駿河台大		1	2
聖学院大	2		
成蹊大			1
成城大	3 (1)	2	3
聖心女子大		1	1
清泉女子大		3 (1)	6
聖徳大		1	1
西武文理大	4 (1)	4	1
専修大	2 (1)	3	1 (1)
洗足学園音楽大		1	
創価大	3	1	
大正大	9 (2)	4	
大東文化大	18 (1)	16	12 (1)
高崎健康福祉大	1	2	
高千穂大		1	
拓殖大	3		3 (1)
千葉工業大	1		
中央大	4		
津田塾大	2		1
帝京大	2 (1)	5	6 (1)
帝京科学大		1	
帝京平成大	3	5	
デンタルハリウッド大	1		
東海大			1
東京医科大		1	
東京医療保健大	1 (1)	1	1
東京家政学院大		2	2
東京家政大	14 (1)	8	20 (1)
東京経済大			2 (1)
東京工科大		1	2
東京工芸大			1 (1)
東京国際大	9	5	7
東京女子大	2 (2)	2	3
東京女子体育大	1		
東京成徳大	1	2	
東京聖栄大		1	
東京造形大			1
東京電機大	1	2	
東京農業大	1 (1)	3	2 (2)
東京福祉大	2	1	

大学	24年	25年	26年
東京理科大	2		1
東都医療大	1	1	
桐朋学園大			1 (1)
東洋大	14 (1)	14 (2)	20 (4)
獨協大	8	5 (1)	3
東洋英和女学院大	1		
東洋学園大			1
同志社大			3 (3)
長浜バイオ大学	1 (1)		
二松学舎大		1	
日本工業大	2	6	
日本女子大	1 (1)	1	3
日本女子体育大	1	1	
日本社会事業大	3	1	1
日本大	4	7	3
日本医療科学大学	7	6	9
日本獣医生命科学大	1		
日本赤十字看護大			1
日本保健医療大		1	
日本薬科大		3	1
人間総合科学大学	1	2	1
フェリス女学院大		1	2
文化学園大	3	1	3
文京学院大	19	17	17
文教大	2	8	4
法政大	7	7	5
北陸大			1
武蔵大	15 (3)	6	8
武蔵野大	1	4	3
明治学院大			1 (1)
明治大	2	2 (1)	
明星大		5	1
目白大	11	13	1
立教大	4 (1)	3 (1)	2
立正大	18 (1)	6	8
ルーテル学院大			1 (1)
和洋女子大	1		
早稲田大		1 (1)	
大学合格者合計	346(35)	345(16)	319(17)
文部科学省管外の大学校	24年	25年	26年
国立看護大学校			1

部活動



吹奏楽部



書道部



華道部



美術部



音楽部

文化部

- 放送部
- 演劇部
- 英語部
- 文芸部
- 生物部
- 園芸部
- 吹奏楽部
- パソコン部
- 化学部
- 音楽部
- 茶道部
- 被服部
- 箏曲部
- 地学部
- 料理部
- 書道部
- 新聞部
- 写真部
- 陶芸部
- 華道部
- 歴史研究部
- 美術部
- ソーシャルサポート部

運動部

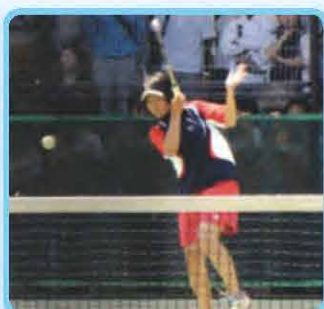
- バレーボール部
- 水泳部
- ソフトボール部
- 剣道部
- バドミントン部
- サッカー部
- 陸上競技部
- 空手道部
- バスケットボール部
- 卓球部
- ソフトテニス部



ソフトボール部



陸上競技部



ソフトテニス部



空手道部



サッカー部

制服の変遷



袴の裾に白線
(大正15年から)



冬の制服
(昭和7年から)



夏の制服
(昭和7年から)



夏の制服
(昭和16年頃から)



へちま袴
(昭和18年頃から)



へちま袴
(昭和18年頃から)



へちま袴
(昭和20年)



セーラー服(冬)
(昭和25年)



ブラウス
(昭和25年)



セーラー服(冬)
(昭和26年から)



昭和58年
夏のセーラー服登場!!

平成27年 三本松に見守られ、
松女は90周年を迎えました。



サポートスタッフ募集

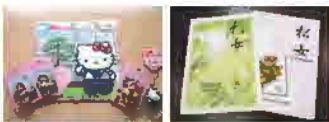
同窓会報作成にあたり、編集・イラスト・構成等 特技をお持ちの方、大募集です。事務局では会報作りに苦慮致しております。発送作業なども予想されます。

お手伝いして頂ける方、ご連絡をお待ちしています。

記念誌・グッズの販売

過去の記念誌及びグッズを販売しています。(500円から)

購入ご希望者は下記・坂本まで。



お願い

創立100周年に向けて同窓会名簿を作成致します。松女の情報を発信・共有するためにも同窓会名簿は必要不可欠として総会でも承認を頂きました。

整備されたデータは母校・松女同窓会の貴重な財産として、同窓会事務局にて厳重に管理致します。つきましては、皆様により正確な名簿作成のため、ご協力をお願い致します。

お名前の登録は松女HPからも可能です。下記坂本までご連絡でも結構です。お知り合いの方もご紹介頂ければ助かります。

名簿作成作業は㈱サルトに委託致しました。総会において本部一任の了承を頂き、あらゆる点から検討した結果、㈱サルトは県内でも多数の実績があり、信頼がおけると判断致しました。

平成29年度総会のご案内

同窓会総会を下記日程で開催致します。

日時 平成29年 7月 2日(日)
午後 1時30分から

場所 紫雲閣
東松山市箭弓町 2-5-14
0493(23)5151

アトラクション

及川三栄子松女前校長がフラメンコをご披露くださいます。

※及川前校長は松女卒業生です。

※総会には卒業生に限りどなたでも参加できます。参加ご希望の方は、準備の都合上平成29年 6月20日までに下記坂本までご連絡下さい。

連絡先

同窓会長 坂本祐子(昭和48年度卒)

同窓会専用携帯電話 090-3406-0251

表紙題字
飯島かおる

編集委員
坂本 祐子 菊池 初江
松崎恵美子 會川 淳子
飯島かおる 岡野美智子

「松女生」を三本松と一緒に暖かく見守って頂ければ幸いです。少しずつ、少しずつ、これからも同窓会報を皆様のお手元に届けていきます。

編集後記

大正十五年誕生した「埼玉県松山実科高等学校」は、昭和十七年「埼玉県松山高等学校」と名称を変え昭和二十三年に松葉町校舎から姫小松の生い茂る現在の和泉町の校舎へと移転し、翌年、県立移管に伴い「埼玉県立松山女子高等学校」となりました。移りゆく歴史の中で卒業生は二万人を超え、移転当時の面影を残した三本松は今も「松女」を見守っています。同窓生の想いを一つにしたい。そしてその想いを会員の皆様に伝えたい、そんな思いでスタートした会報作りでした。歴史の重みを感じながら、素人が手探りで何とか発行まで漕ぎ着けました。至らない点も多々ありますが、少しでも「松女」を懐かしく楽しんで頂ければ、そして「今」を頑張る「松女生」を三本松と一緒に